

平成25年度第2回青梅市協働事業市民推進委員会概要

平成25年9月5日
本庁舎5階503会議室
午後2時～午後4時

出席委員8人・欠席委員1人

1 第1回欠席者に委嘱状交付

市民活動推進課長より、委員に委嘱状交付

2 委員長あいさつ

本日もよろしく願いいたします。

3 報告事項

(1) 協働推進員および市民活動団体対象の協働研修について

事務局より報告

委員：講師のお話は意義があると思うが、グループワークはそれぞれのグループでテーマをしぼりこんでいくのは悪くないが、「まちづくり」という一つのテーマがあるならテーマをしぼって、同じテーマで行ったほうがよかった。

3時間は短い。研修はもう少し時間はかける、グループで計画をたて、具体的な提案をだした研修のほうがいい。

委員：団体でかかわっている協働の課の方とは違うさまざまな課の方とディスカッションさせていただき、さまざまな課が行政のよこのつながっていけばよいという言葉をいただけたのでよかった。

委員：講演はわかりやすい内容であった。何で協働が必要か再確認をした。

委員：初めて協働の研修を市役所と市民活動団体と行ったときより数段前進した。当時は、協働が浸透していなかったのもある、市民団体の方が市役所の方と会うと、要求する会になってしまふことになってしまっていたが、そういう体はなくなった意味では、前進したと思います。とはいっても役所の方の中には、係になったからきましたと言っているかたがいました。

いい意味では係になれて学習できたということになるが。

委員：研修の動機には職員と市民団体には差がある、職員は係になったからという動機がある、これからは市の職員の方は協働がどの場面にいっても知っていながらやらなければいけない、まずは職員の方の研修とうところで研修をやることであった。市民の方からしてみるとそれなりに話をしたいとかで参加しているので、具体的に研修といってもテーマどういふふう定義にしていくのかというのもある。人数が多かったとはいえど、ひとつのテーマを決めていき、そのあとにというのもある。時間が限られていたので、本来はテーマをきめたほうがいいと思う。職員の方はどういう団体があって、どういう役割があるのかわかっていただけた機会と思います。今後やるのであれば、時間をどう討議していくのかも。実際には同じテーブルについて実際やってみることが大事。この機械が増えていくといいと思う。

委員：研修といえども、研修で話をしたら、もう少し進展した話があったらいい。研修と市との協働をつくるテーブルをつくる機会があれば。例えば市民向けにシンポジウムでもいいと思うが、みなさん自身が参加できる、継続的に話していけるような会議を開いていけるとよい。

事務局：今回の研修は協働の基本的なことで、今後考えていることは団体向けの研修を行っていききたい。

委員：団体向けにアンケートはくる。人材不足、財源不足にチェックする。

委員：市民活動団体にとってどのような協力をしてほしいのか、団体自身の運営に関わる悩みである活動拠点の確保、お金に関しては継続的に必要になっていく。資金はどうつくっていくのか、協働事業で1年は活動できたが、その後について。違う活動をしている近くの団体ときっかけがほしいなどネットワークの話もある。

委員：研修を推進委員会で計画してみてもどうか

(2) 平成26年度青梅市市民提案協働事業実施について

事務局より説明

事務局：事業報告会を平日、今日にするか検討している。

委員：市民がプレゼンにたくさんくるとは思えない。関係している団体関係者はくるが、行ってみようかというふうにはなかなかない。

委員：事業報告会が応募前であれば、事業報告会を見て参考にし、応募につなげられる。

委員：地域活性化や商店街の話があるが、それぞれお金の使い方は違う。組み換え方がある。もう少し協働事業だけでない、お金の持っていくかたがあるのでは。

委員：協働で事業を行い、良い評価をもらうがそのあとが続かない。

3 協議事項

(1) 平成24年度事業の評価について

事務局より説明

委員：委員会での評価はどんな点をするのか？

事務局：全体またはピックアップしてもらい指摘をしてもいい。全体で総括でもよい。

委員：市民側が協働として参加しない例えば行政書士の無料相談とか、行政書士が協力するが、市内の市民が相談会を開催するかたちではなさそうである。市のサービスという形で協働の形態ではないのでは。

事務局：市民側に該当するのは、行政書士である。協働の対象に市民活動団体のほかに企業もある。こういうものも協働の相手である。

委員：市民側として評価や意見が入っていないのが、協働というところでもいいのかどうか。一緒にやる方たちが一市民として感じられるのであればいいが。ただ、事業評価には、きちんと評価、意見をいれてもらったほうがいい。

委員：この評価であれば〇×でいいのでは

4 その他

事務局：9月22日におうめ若者カフェの講座「社会的起業と地域活性」を市役所で開催。11月3日おうめこどもふれあいフェスタを永山ふれあいセンターで開催。ぜひご参加ください。

閉会あいさつ

委員：長い時間ありがとうございました。いろいろなコラボレーションができるように、みなさんの知恵をだしあっていきたいと思いますので、次回よろしく願いいたします。